

神戸市による塩屋多井畑線の計画変更素案は、

「地域住民による整備の考え方」の内容を適切に反映しているか？

## 評価・検討会での 主な意見のまとめ

第1回 11月 5日（土）下代自治会館

第2回 11月 19日（土）塩屋小学校・図書室

第3回 11月 27日（日）塩屋地域福祉センター

### 地域の「基本方針」に沿った素案になっているか？

- 拡幅によって自然の一部が損なわれるのは仕方ないが、全体のまちづくりや緑を復元する計画が必要。
- 部分部分を残してもダメ。つぎはぎで対処しているだけ。
- 「まち」というものの根本的な部分で話し合いが不十分。
- これから先のまちのあり方、目に見えない部分も考えて。
- 子ども達の通学の安全をできるだけ早く実現して欲しい。
- バリアフリーを考えてガードレールを整備。
- 既存宅地への接続路もきちんと整備して欲しい。
- 緑と水の回廊に合ったイメージの歩道整備をして欲しい。
- 歩道に街路樹を入れて
- 「複雑な～独特な景観」が守られていない。



### [下代～大谷区間] 道幅、特に歩道幅は神戸市素案でよいか？

- 下代から多井畑・須磨まで16mでつなげて一体的にしては？→地形的に難しいかな？
- 歩行者と自転車を分けるために歩道2.5mを2.0mと路肩0.5mにしてはどうか。
- 歩行者と自転車一緒に通行できるように。植栽も含めて考えると歩道3.5m。
- 右折レーンはいらぬのでは？（安全確認をと思うから）
- 少しでも速度を抑えるために右折レーン必要なくて良いのでは。

### [大谷～山陽電鉄区間] 地域の「基本方針②」を踏まえているか？

- 現状のカーブがいかにされていない。
- 30 km/hに抑えられる？→構造令ではそうかもしれないが、もっとスピードをだす。
- 全体幅員を柔軟に考えて。地形、建物を尊重して歩道を削って調整する。
- 歩道2.5mはあってよい。センターラインをなくす。車道幅を減少して調整。
- 通学路としての道路の安全性を考えて欲しい。
- 自転車の通行の安全性を確保。専用路を。
- 川の横断部を工夫して車のスピード抑えたい。
- 川の横断部、桜並木など花木もあり景観を守って欲しい。
- 歩道は確保したまま幅員は自然形状に合わせる。
- 大谷交差点以南、通学路の安全性確保のため歩道をつけること最優先。



### [大谷～山陽電鉄区間] 通過交通を抑え、歩行者優先の計画になっているか？

- 歩車道の間には防護柵必要では？
- 高架下を拡幅しないのは渋滞等、歩行者優先にならない。
- 「歩行者が優先的に」と言った提案に対して回答が全く沿っていない。
- 計画（対応策）が具体的じゃないので判断しづらい。
- 速度規制以外に車のスピードを抑える工夫が必要。
- 舗装仕様の工夫。計画（素案）に入っていない。ハンプ（道路の凸凹）など具体的な工夫を素案に示すべき。

### [大谷～山陽電鉄区間] 段差や傾きを抑える方法は神戸市素案でよいか？

- 防護柵等、安全対策を前提に。
- 車いすのすれ違いできる幅員の具体的なイメージができない。2.5mで大丈夫？
- 歩道は歩道として段差になっている方がいい。
- 歩車道区別をわかりやすくするべき。
- 方向性はいいが判断しかねる。

